

(76)

氏名(生年月日)	シン 進	ドウ 藤	ヒロ 廣	ナリ 成
本籍				
学位の種類	博士(医学)			
学位授与の番号	乙第1323号			
学位授与の日付	平成4年11月20日			
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	超音波検査による直腸癌リンパ節転移診断に関する研究一特に2群以上の転移リンパ節について一			
論文審査委員	(主査) 教授 浜野 恭一 (副査) 教授 羽生富士夫, 川島 真			

論文内容の要旨

目的

直腸癌の手術術式は、正確な術前進行度、特にリンパ節転移診断に基づき選択されることが理想的である。しかし2群以上の遠隔リンパ節、すなわち上方向リンパ節(下腸間膜リンパ節、傍大動脈リンパ節)および側方リンパ節(中直腸動脈根リンパ節、閉鎖リンパ節・内腸骨リンパ節)転移の術前診断は各種画像診断を用いても位置同定すら不確実で極めて困難とされてきた。著者は従来体表用として用いられていた7.5MHzの高解像度探触子を、腹部超音波検査に応用し、上方向リンパ節および側方リンパ節における直腸癌リンパ節転移診断の可能性と限界を検討した。

対象と方法

対象は術前に超音波検査を施行した直腸癌130例である。全対象例につき上方向リンパ節および側方リンパ節転移診断を検討した。このうち25例に術中超音波検査を施行し、リンパ節部位の同定を行った。なお、画像上3mm以上の低エコーを示す類円形の超音波像をリンパ節転移陽性と診断し、手術的肉眼的所見および病理学的所見と対比しその診断率を求めた。

結果

1. 上方向リンパ節

下腸間膜リンパ節の転移診断は sensitivity : 75%, specificity : 93.3%であった。および傍大動脈リンパ節の転移診断は sensitivity : 100%, specificity : 100%であった。

2. 側方リンパ節

1) 中直腸動脈根リンパ節: 同リンパ節は術中超音波検査の検討により内外腸骨動脈分岐から平均2cmの内腸骨動脈内側に存在することが分かった。リンパ節転移診断率は sensitivity : 75%, specificity : 99.2%であった。

2) 閉鎖リンパ節・内腸骨リンパ節: 同リンパ節は超音波画像上、内外腸骨動脈分岐部で閉鎖神経周囲に存在する。閉鎖リンパ節と内腸骨リンパ節の判別は困難だったが両リンパ節を一括すると診断率は sensitivity : 67%, specificity : 99.2%であった。

考察および結論

直腸癌の上方向リンパ節転移診断、特に下腸間膜リンパ節に関してはCT, MRI等での診断は極めて困難であるが、本法により容易に診断可能となり、術式決定上大きな情報を提供できるようになった。

一方側方リンパ節転移診断に関しては超音波診断ではリンパ節部位の同定すら不可能と考えられており、教室の板橋によるMRI骨盤矢状断像の有用性が報告されているにすぎない。しかしMRIを全症例に行うには限界があり、より簡便な方法である超音波検査により遜色ない正診率が得られたことは意義あることと考える。

論文審査の要旨

直腸癌の遠隔リンパ節転移診断,特に下腸間膜リンパ節転移診断は従来の画像診断では極めて困難であり,また側方の内腸骨リンパ節,閉鎖リンパ節に関してはMRIでの有用性が報告されているに過ぎない。

本論文は7.5MHzの高解像度探触子を腹部超音波検査に導入することにより,従来超音波検査では不可能とされていた同部位のリンパ節転移診断に高い診断率を得たもので学術上,臨床上価値ある論文である。

主論文公表誌

超音波検査による直腸癌リンパ節転移診断に関する研究—特に2群以上の転移リンパ節について—
東京女子医科大学雑誌 第62巻 第6・7号
543-552頁(平成4年7月25日発行)

副論文公表誌

- 1) 超音波検査における側方リンパ節描出の検討. 日超医論文集 55:449-450(1989) 進藤廣成, 亀岡信悟, 朝比奈完, 浜野恭一
- 2) 超音波検査による下腸間膜動脈領域のリンパ節転移診断. 大腸肛門誌 43:590-594(1990) 亀岡信悟, 進藤廣成, 朝比奈完, 中島清隆, 宮崎要, 神崎博, 板橋道明, 泉公成, 斉藤登, 浜野恭一
- 3) 腸間膜脂肪織炎の超音波像. 日超医論文集 59:915-916(1991) 進藤廣成, 亀岡信悟, 神尾孝子, 朝比奈完, 浜野恭一
- 4) B cell type 回盲部悪性リンパ腫の1例. 胃と腸 25(4):479-484(1990) 進藤廣成, 亀岡信悟, 宮崎要, 中島清隆, 朝比奈完, 佐々木宏晃, 浜野恭一, 長廻紘, 長谷川かをり, 笠島武
- 5) 腸管悪性リンパ腫の内視鏡的検討. 胃と腸 24(5):517-528(1989) 長谷川かをり, 長廻紘, 屋代庫人, 橋本洋, 秋本伸, 進藤廣成, 浜野恭一, 笠島武
- 6) 乳頭異常分泌を主訴とした非触知乳腺腫瘍の超音波診断. 超音波医 16(5):463-470(1989) 神尾孝子, 亀岡信悟, 神崎博, 進藤廣成, 加藤孝男, 藤井昭芳, 木村恒人, 浜野恭一
- 7) Double stapling techniqueを用いた低位前方切除術. 東女医大誌 60(10・11):885-890(1990) 亀岡信悟, 中島清隆, 宮崎要, 進藤廣成, 神崎博, 板橋道明, 泉公成, 斉藤登, 浜野恭一
- 8) S状結腸癌に対する下腸間膜動脈を温存したR3郭清法. 大腸肛門誌 44:254-259(1991) 亀岡信悟, 朝比奈完, 中島清隆, 平泉泰自, 進藤廣成, 宮崎要, 神崎博, 板橋道明, 泉公成, 斉藤登, 浜野恭一
- 9) 急性薬物中毒に対するポリエチレングリコール含有電解質液による腸管洗浄法. 日救急医会関東誌 10(2):322-323(1989) 関由紀夫, 鈴木忠, 中川隆雄, 石川雅健, 藺田裕, 古沢豊, 宮崎要, 進藤廣成, 神崎博, 青木淑枝
- 10) 腸間膜に発生したCastlemanリンパ腫の1治療例. 腫瘍と感染 1(3):201-206(1988) 大地哲郎, 當間克彦, 進藤廣成, 桐田孝司, 瀬下明良, 中西明子, 河耕石, 浜野恭一, 近藤光子, 滝沢敬夫, 相場元彦, 平山章